

～2 学期始業式の言葉～

まずは長かった夏休みを振り返り、自分の見方や考え方・世界が広がったと感じることはありましたか？

少し考えてみてください。・・・40 日あまりです。何にもないということは絶対にありません。どんなことでもいい、自分にとって心が動き感動したことや、誰かと触れ合うことで気づいた新たな発見とか、自分で自分をほめてあげたいくらい頑張ったことなど。それらの出来事すべてが自分の財産です。なんとなく終えるのではなく、今、振り返り価値づけることに意味があります。この夏を振り返ってみてください。

私は、やっぱりパリオリンピックで戦うアスリートのみなさんの姿や言葉から、この夏一番の感動をたくさんもらえたことです。本当に「リスペクト」の思いにつきます。その後のインタビューや記事を深堀していくと、そこに至るまでの過程や背景の一部にも触れられることで、さらに気づかせてもらえることや学ぶことも多かったです。残念なことは、そのアスリートたちを無責任にネット上で攻撃する人たちが大勢いるということでした。自分はそのステージに立つことすら出来ていないのに、その時の結果だけを見て、好き勝手に言いたいこと言って、選手の人格まで否定する投稿を平気でしている人たちがあふれている現状・社会が、とても悲しいと感じました。これからの社会をつくり、担っていくのは、今、中学生であるみなさん、一人一人です。どうか、自分はその中の大切な一人なのだという自覚をもって、今を過ごしてほしいと思います。

私たちは社会の中で生きています。でも、一人では決して生きてはいけません。お互いに補い合い支え合って成立している社会を、共に生きる一員として、自分ができることで社会に貢献し、それが生きがいであり幸せにつながる。これが人生で、人が生きるということだと私は思っています。そして、みなさんが生きるこれからの社会は、これまで何度も伝えているように、予測が困難で、とても変化が激しく、情報もあふれ、誰もこれまでに経験したことがないようなことを、たくさんクリアしていかなければならない時代なのです。これまで通りでとか言われたことだけとか、誰かの指示を待ってといった姿ではなく、自分で考え自分で決めることができ、十人十色を認め合える人が求められているのです。

だからこそ、この新時代を生きていくために持っている武器になる力が「自ら」「共に」「挑む」力なのです。その力を小さな社会である学校という場所でつけていく。これが学校の使命だと考えています。だから、みんな自身にも、そのつもりでいてほしいのです。

今日から、いよいよ実り多き 2 学期がスタートします。それぞれの学年の折り返し地点もやってきます。2 年生にとっては 3 年間の中学校生活の折り返しでもあります。せひ、自分自身の成長が実感できる 2 学期にしてください。運動会や合唱コンクール、そして「勸進帳」と、みんなで力を合わせて創り上げる行事もたくさんあります。「このメンバーだったからこそできた、この学級で、学年で、学校でよかった」と思える時間を、みんなの手で創り上げてください。

そのために大切にしてほしいことは、生徒会のテーマにもある「智・仁・勇の心」です。「智：しなやかさ・仁：やさしさ・勇：つよさ」です。あなたが思う「しなやかさ・やさしさ・つよさ」とは？どんな姿なのか、自分なりの答えを見つけてほしいと思います。そして、これらの心を大切にしながら、「自ら」「共に」「挑む」力がつくように、自己成長を積み重ねてほしいと心から願っています。

具体的には…「インプット」読む・見る・聞く「アウトプット」話す・書く・行動する「フィードバック」振り返り・見直す・修正する。このサイクルを一回転させるごとに、あなたはレベルアップし自己成長を遂げます。と登校日にみんなに紹介した本に書いてありました。新時代の生き方の正解は「装備を整え、仲間を集め、冒険に出よう！」だ。と書いてあった、あの本です。大人気の精神科医の先生が書いた本なので、読むと勇気が湧いてきて心が軽くなるメッセージがいっぱいでした。「100 回失敗できるのは、十代の特権です」とか「友達はいらない、仲間をつくれ。つながる力で十人力だ」といった感じです。興味がある人は読んでみてください。

これから始まる 2 学期が、私たちみんなにとって、生きる自信と意欲につながる時間となることを心から願い、またみなさん自身もそうでありたいと思うことを強く希望し、2 学期始業式の言葉とします。